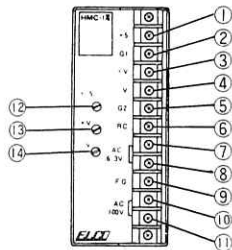


1. 端子配列・ボリューム



- ① +5V出力端子
- ② +5V GND端子
- ③ +V出力端子
- ④ -V出力端子
- ⑤ ±V GND端子
- ⑥ リモートコントロール端子
- ⑦ } AC6.3V出力端子
- ⑧ }
- ⑨ 接地端子
- ⑩ } 入力端子 AC85~110V 1φ 48~62Hz
- ⑪ }
- ⑫ +5V出力電圧可変ボリューム
- ⑬ +V出力電圧可変ボリューム
- ⑭ -V出力電圧可変ボリューム

2. 機能説明

■2.1 過電流保護

- 定格電流を越えて出力に電流を流すと、過電流保護回路が動作します。
- 過電流となる原因を取り除くと出力は、自動的に復帰します。
- 過電流状態での使用は、電源の寿命をちぢめますので出力電流が定格以内に入っていることを確認のうえご使用ください。

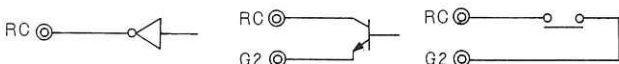
■2.2 過電圧保護

- 定格電圧の115%以上の電圧が出力に出ると過電圧保護回路が動作して全出力を遮断します。
- 復帰は、入力電源の再投入で行えますが必ず原因を取り除いてから行ってください。

■2.3 リモートコントロール

- RC端子開放で、出力し、ショートで出力は出なくなります。
- TTL、トランジスタ、及びリレー接点で制御できます。

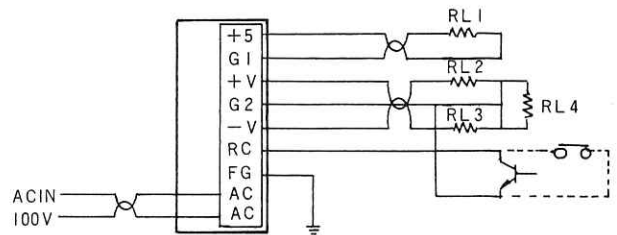
〈例〉



■2.4 出力電圧可変

- 出力電圧の変は、全面パネルのボリュームで行い、右回転で高く、左回転で低くなります。
- 可変範囲は、+5Vが4.5~5.5V、±Vが±1Vです。ただし、-5Vは、-4.5~-5.5Vです。

3. 入出力端子への配線

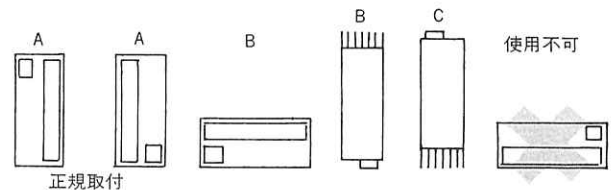


- ライン入力の線と出力の線は、分離ツイストした方が、耐ノイズ性能が向上します。
- 出力の線は、太く短く配線してください。
- リモートON/OFFをしない場合、RC端子の配線は不用です。
- G1、G2は内部で接続されています。

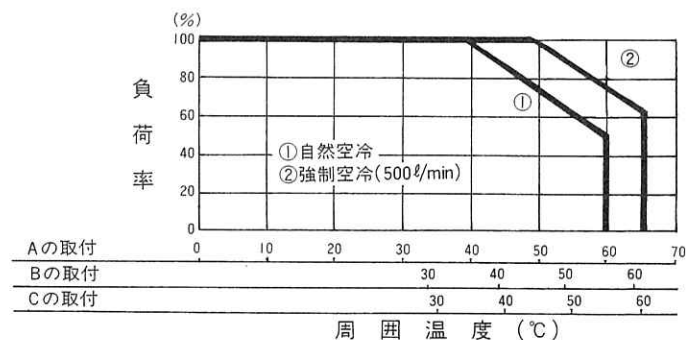
4. 出力ディレーティング

- HMCシリーズを定格温度以上、正規取付以外及び強性空冷で使用されるときは次の要領でご使用ください。

(1)取付方法



(2)ディレーティング表



5. 複数の電源の使用

- 複数の電源を並べてご使用になる場合は、電源の間隔は、25mm以上開け、下面から上面への自然対流を考慮してください。

